

例会記事

九月例会 九月十七日 (土)

順天堂大学医学部九号館一番教室

- 一、オランダで採訪の二、三の史料について 片桐 一男
- 一、アメリカ人医師

Simmons, Duane B. の事績をめぐって—特に福沢諭吉との関係について— 大鳥 蘭三郎

- 一、緒方家本「和蘭詞解略説」について 沼田 次郎

- 一、リンデン伯「日本の想い出」長崎文献社・復刻・一九八三の紹介 緒方 富雄

十月例会 十月十五日 (土)

順天堂大学医学部九号館一番教室

- 一、文献にみる前野良沢と杉田玄白 酒井 シヅ
- 一、前野蘭化と杉田玄白 緒方 富雄

十一月例会 十一月二十六日 (土)

順天堂大学医学部九号館一番教室

- 一、跡見玄山と適塾 田崎 哲郎
- 一、日本のインタン制度 山本 俊一

例会講演要旨

オランダで採訪の二、三の史料について

片桐 一男

一九八一年四月から翌年の四月にかけて一カ年オランダに在外研究の間、採訪した語史料のうち二、三についての紹介。

I Algemeen Rijksarchief (中央古文書館)

ハーグ市の中央駅に隣接して開館した白い新館に、まる一カ年閲覧に違い続けることのできた日本人研究者としては、私が初めてか。

ここでは、周知の通り、日本におかれたオランダ商館関係文書をはじめ、商館長として来日した Jan Cock Blomhoff や Hendrik Doeff あるいは船長として来日した P. Bezemer などの個人コレクションにかかる古文書をみることであり。

オランダ商館文書は M.P.H. Roessingh の編纂にかかるカタログ Het Archief van de Nederlandse Factory in Japan 1609~1860, <sup>3</sup>Gravenhage 1964. の整理番号で、そのまま請求でき。

商館文書はすでに東大史料編纂所にマイクロフィルムが将来をたれており、独自の目録も刊行されている。しかし、ここではマイクロ撮影による焼付では判読しにくい点のみられる文書をえらんで紹介した。

1 No. 1639. Ingekomen stukken, Met bijlagen の中

Het Sein van Schip in het aanstande jaar 1857 varende